

令和5年度
男女共同参画についての
職員アンケート調査報告書
(速報版)

目次

I	調査の概要	
	1. 調査の目的	1
	2. 調査の方法	1
	3. 報告書の見方	1
II	生駒市職員調査結果	
	1. 回答者の属性	5
	2. 昇進と能力	12
	3. 育児休業・介護休業	15
	4. 男女共同参画の研修	16
	5. 業務における男女共同参画の視点	18
	6. 生駒市の審議会委員と管理職に占める女性の割合	20
	7. ワーク・ライフ・バランス	26
	8. 地域とのかかわり	28
	9. 職場における男女共同参画、生駒市の男女共同参画施策への意見・要望	29
III	資料・使用した調査票	
	男女共同参画についての生駒市職員アンケート	55

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

生駒市では、「生駒市男女共同参画行動計画（第3次）」（以下「現計画」という。）の期間満了（令和6年度末）に伴い、現計画策定・改訂後の社会情勢の変化や新たな課題に対応するため、令和7年度から10年間を計画期間とする「生駒市男女共同参画行動計画（第4次）」（以下「次期計画」という。）を策定する。その検討のため、男女共同参画の現状、課題や認識の状況などについて、基礎資料を得ることを目的に本調査を実施した。

2. 調査の方法

生駒市職員を対象とした調査

調査対象：市役所全職員（臨時職員を除く）886人

調査方法：庁内メールによる調査

調査期間：令和5年10月6日～令和5年10月20日

回答状況：発送件数／899件 有効回答数／521件 有効回答率／57.9%

3. 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、パーセントの合計が100%にならないこともある。
- (2) 複数回答が可能な質問では、構成比の母数は回答者数とし、その項目を選択した人が全体の何%なのかという見方をした。そのため、各項目の比率を合計しても100%とはならない。
- (3) 本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載されている場合がある。
- (4) 報告書中のグラフにおいて、値の小さい項目は表記が省略されている場合がある。

Ⅱ 生駒市職員調査結果

Ⅱ 生駒市職員調査結果

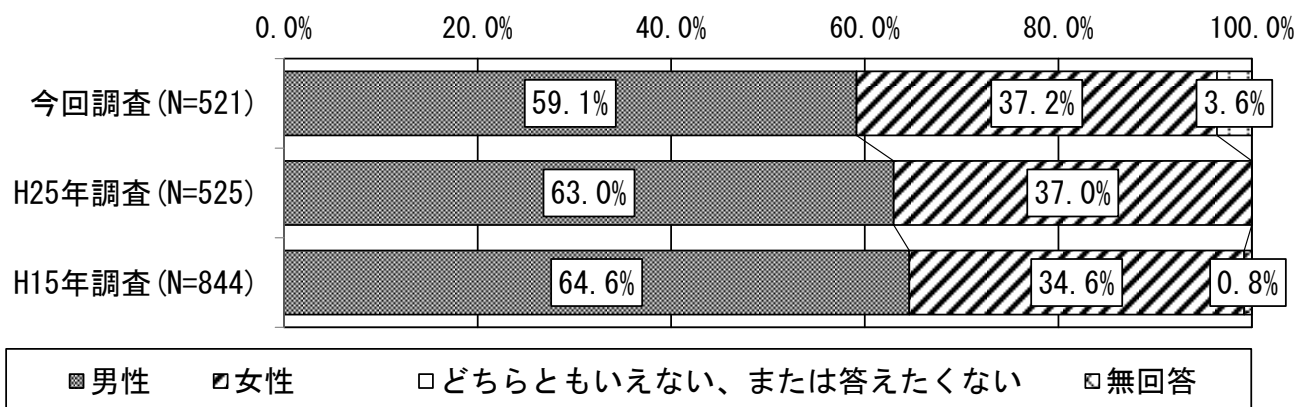
1. 回答者の属性

(1) 性別

問1 あなたの性別は。(いずれか1つを選択)

- 回答者の性別は、「男性」が59.1%、「女性」が37.2%となっている。
- H15年調査から女性は増加傾向となっており、男性は減少傾向となっている。

図表 性別

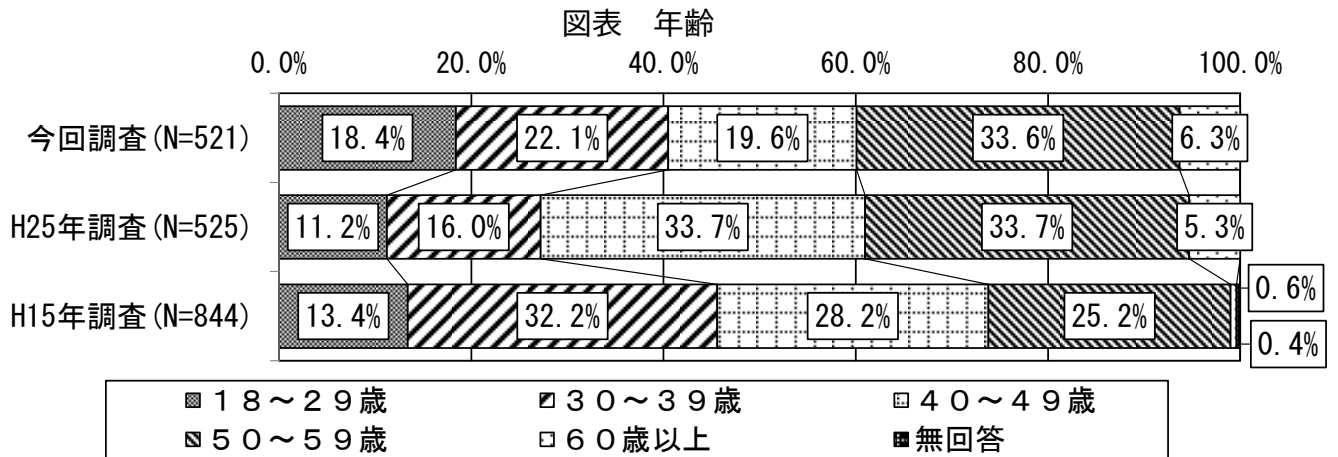


(2) 年齢

問2 あなたの年齢は。(いずれか1つを選択)

●回答者の年齢は、「50～59歳」が33.6%で最も多く、次いで「30～39歳」(22.1%)となっている。

●前回調査と比較すると「18～29歳」、「30～39歳」の職員の割合は増加し、「40～49歳」の職員の割合は減少している。



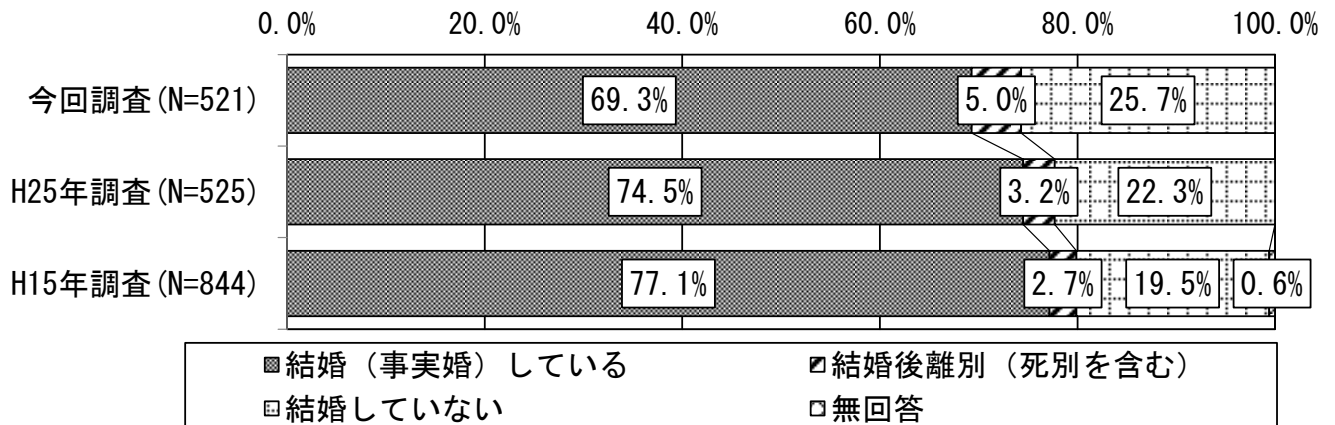
(3) 婚姻状況

問3 あなたは結婚（婚姻の届出のない事実婚を含む）していますか。（いずれか1つを選択）

●回答者の婚姻状況は、「結婚（事実婚）している」が69.3%、「結婚していない」が25.7%となっている。

●H15年調査から「結婚（事実婚）している」は減少傾向である。

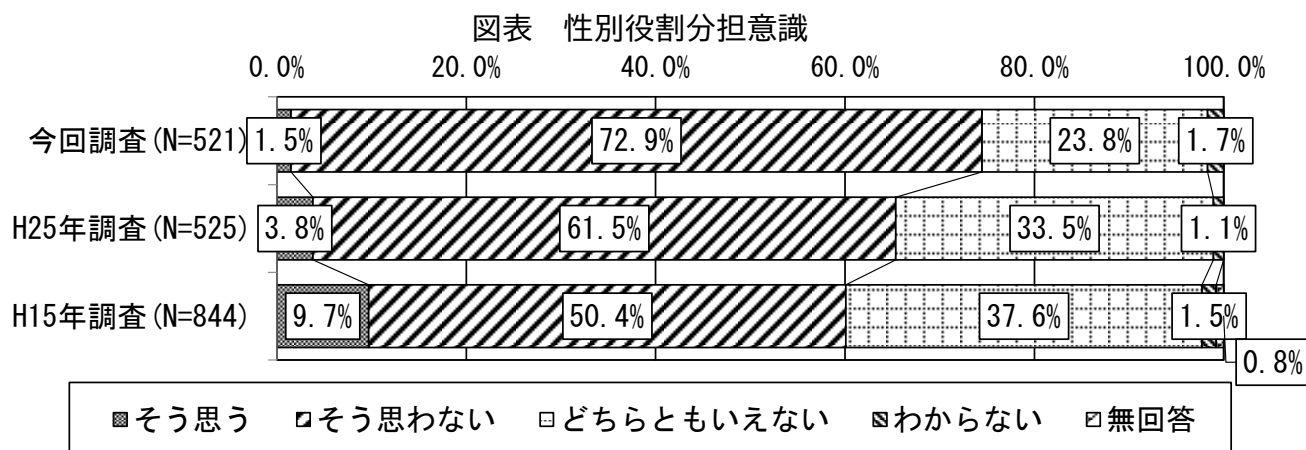
図表 婚姻状況



(4) 性別役割分担意識

問4 あなたは「男は仕事 女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(いずれか1つを選択)

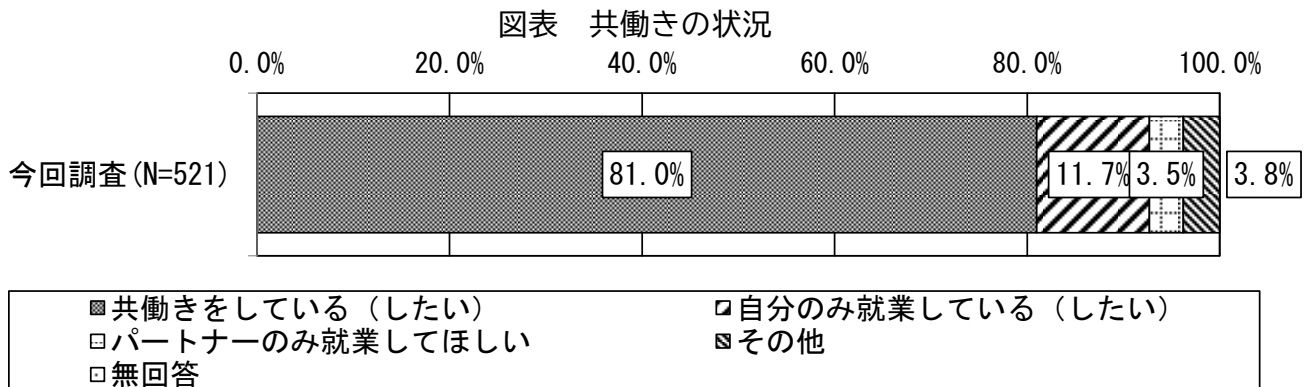
- 性別役割分担意識についてみると、「そう思わない」が72.9%で最も多く、7割以上が性別役割分担意識に否定的な意識を持っている。
- H15年調査と比較すると「そう思う」が9.7%から1.5%と減少し、「そう思わない」は50.4%から72.9%と20ポイント以上増加している。



(5) 共働きの状況

問5 あなたは現在共働き（パートナーがパートタイム、自営業、内職などを含む）をしていますか。また、パートナーがいない方は、結婚するとしたら共働きをしたいと思いますか。（いずれか1つを選択）

●現在の共働き状況、もしくは将来の共働きの意向をみると、「共働きをしている（したい）」が、81.0%で最も多く、8割以上が共働きをしているもしくは希望している。

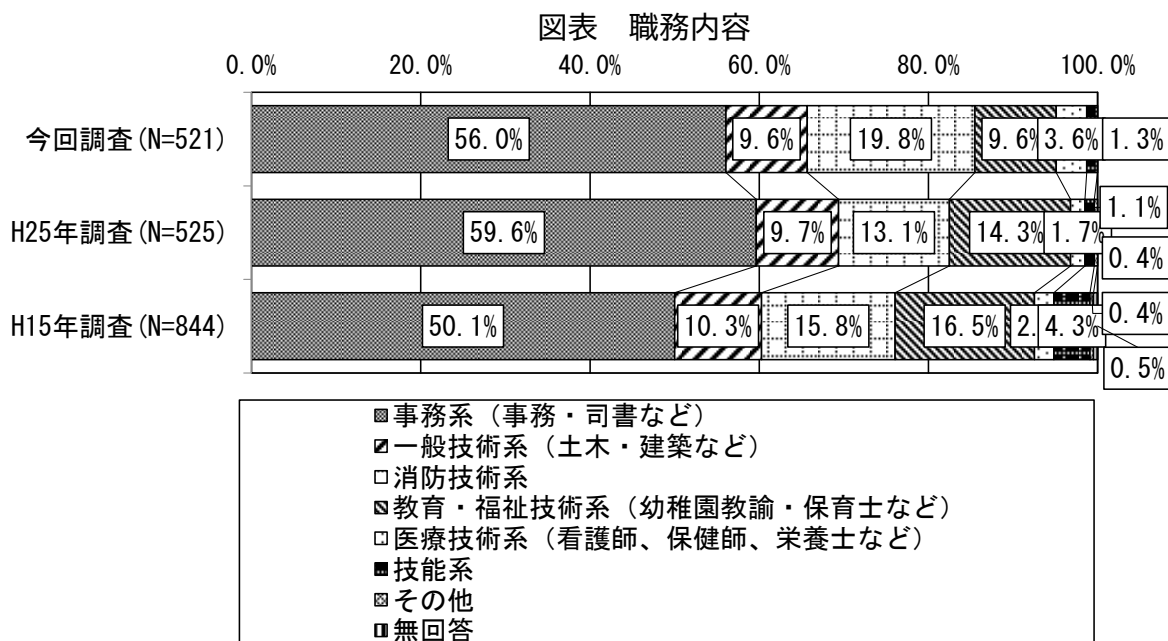


(6) 職務内容

問6 あなたの仕事の内容は、次のうちどれですか。(主となるもの1つだけを選択)

●回答者の職務内容は、「事務職系（事務・司書など）」が56.0%で最も多く、次いで「消防技術系」19.8%などとなっている。

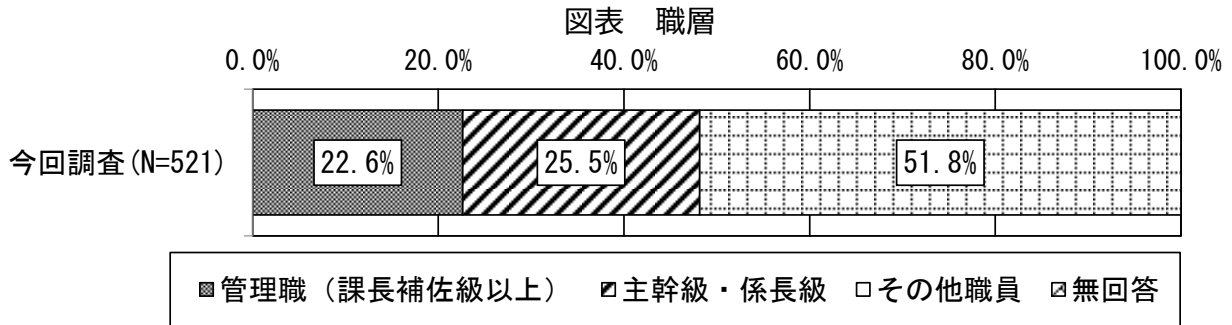
●H15年調査から「教育・福祉技術系（幼稚園教諭・保育士など）」は減少傾向である。



(7) 職層

問7 あなたの職層は。(いずれか1つを選択)

- 回答者の職層は、「その他職員」が51.9%で最も多く、次いで「主幹級・係長級」(25.5%)、「管理職」(22.6%)となっている。

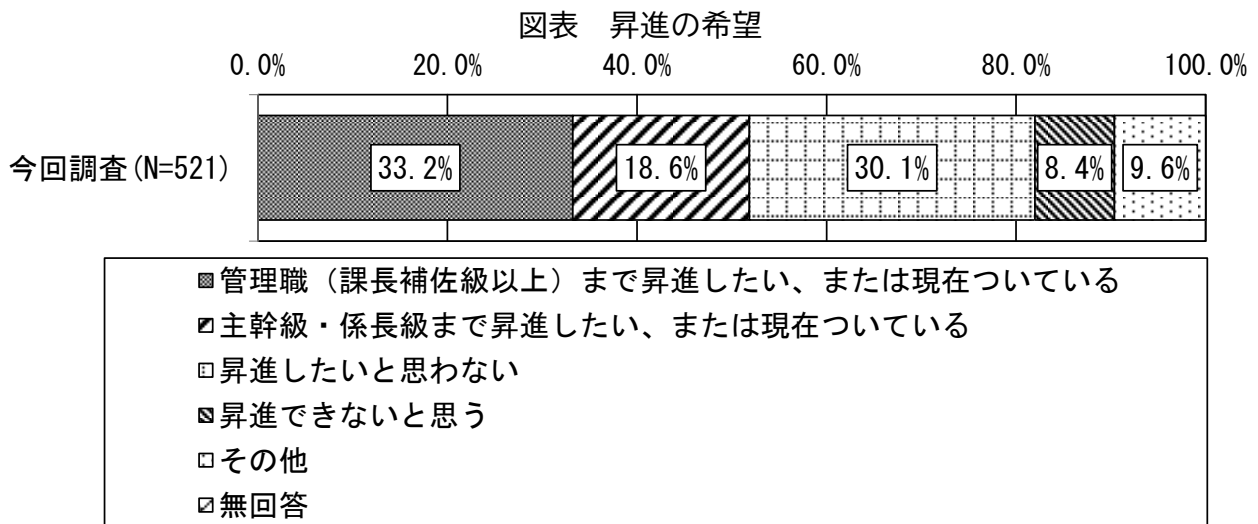


2. 昇進と能力

(1) 昇進の希望

問8 あなたは、将来どのような役職につきたいと思いますか。(いずれか1つを選択)

●昇進の希望についてみると、「管理職（課長補佐以上）まで昇進したい」が33.2%で最も多く、次いで「昇進したいと思わない」（30.1%）となっている。



(2) 昇進を希望しない理由

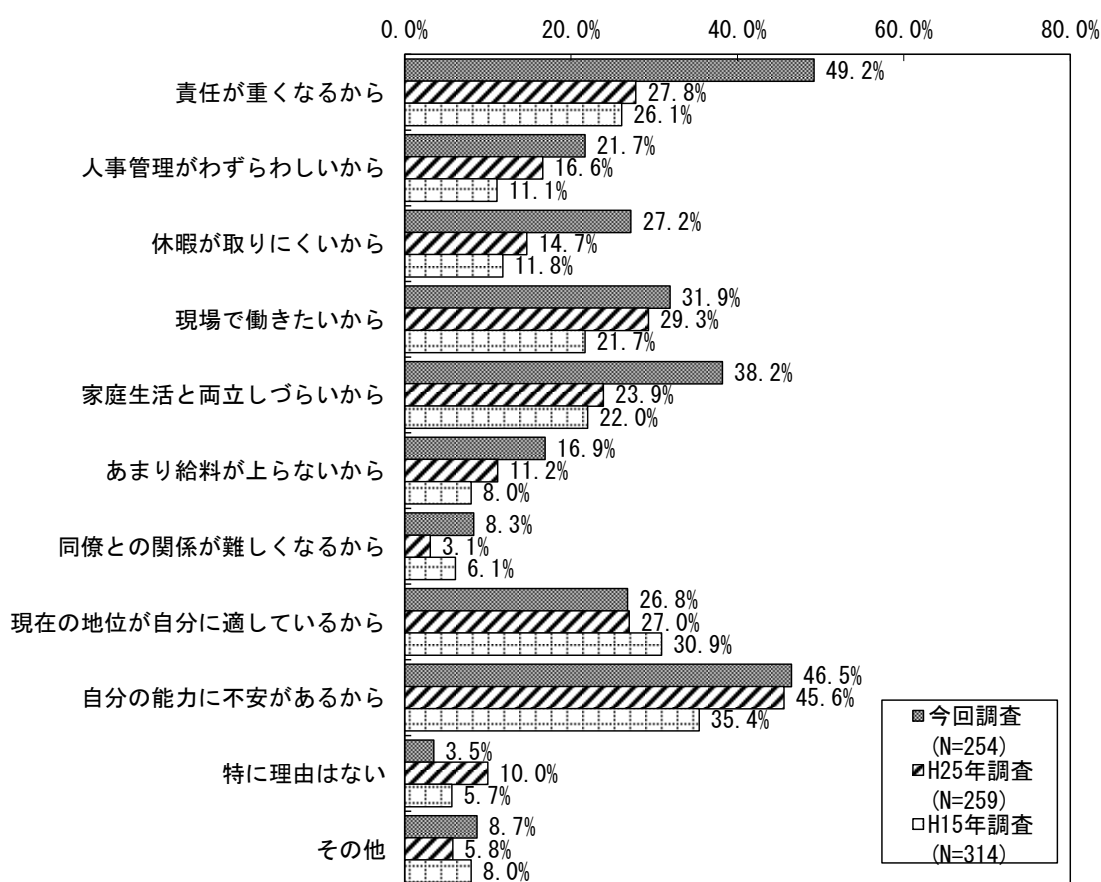
問8で「2 主幹級・係長級まで昇進したい」「3 昇進したいと思わない」と入力された方へおたずねします。

問9 管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

●管理職になりたくない方について、なりたくない理由をみると、「1 責任が重くなるから」が49.2%で最も多く、次いで「9 自分の能力に不安があるから」(46.5%)、「5 家庭生活と両立しづらいから」(38.2%) になっている。

●H15年調査と比較すると、「1 責任が重くなるから」は、26.1%から49.2%と20ポイント以上増加している。

図表 昇進を希望しない理由

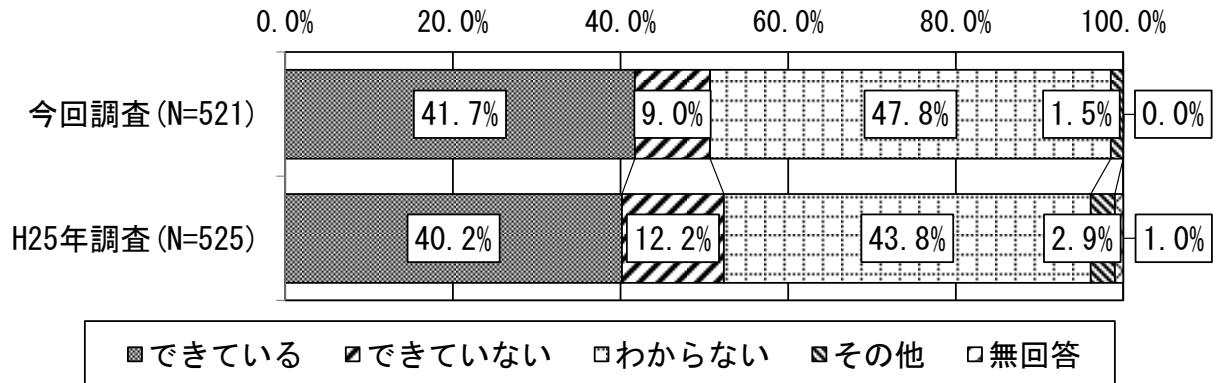


(3) 仕事において自分の能力を発揮できているか

問 10 あなたは、仕事において自分の能力を発揮できていると思いますか。(いずれか1つを選択)

●仕事において自分の能力を発揮できているかをみると、「わからない」が47.8%で最も多く、次いで「できている」(41.7%)、「できていない」(9.0%)となっている。

図表 仕事において自分の能力を発揮できているか

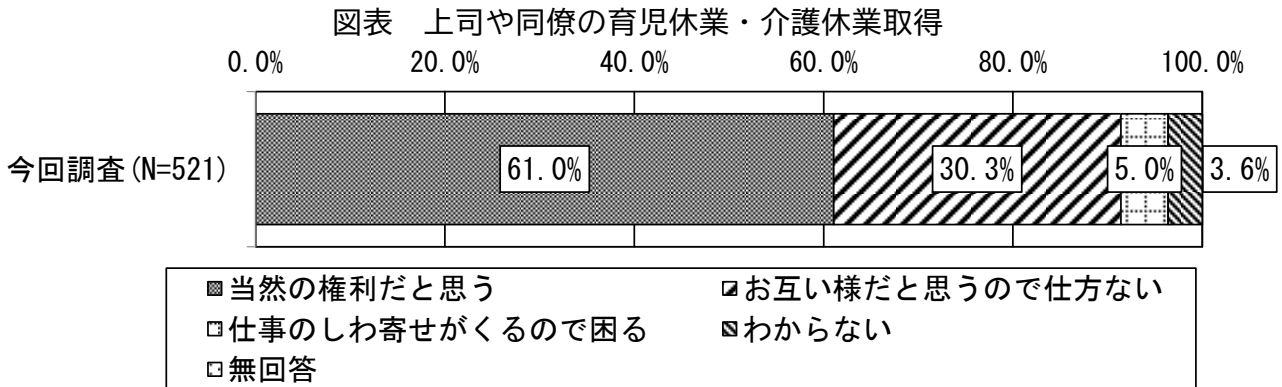


3. 育児休業・介護休業

(1) 上司や同僚の育児休業・介護休業取得

問 11 あなたの上司や同僚等が育児休業及び介護休業を取得するとしたら、どのように思いますか。(いずれか1つを選択)

●上司や同僚の育児休業・介護休業取得についてみると、「当然の権利だと思う」が61.0%で最も多く、次いで「お互い様だと思うので仕方ない」(30.3%)となっている。



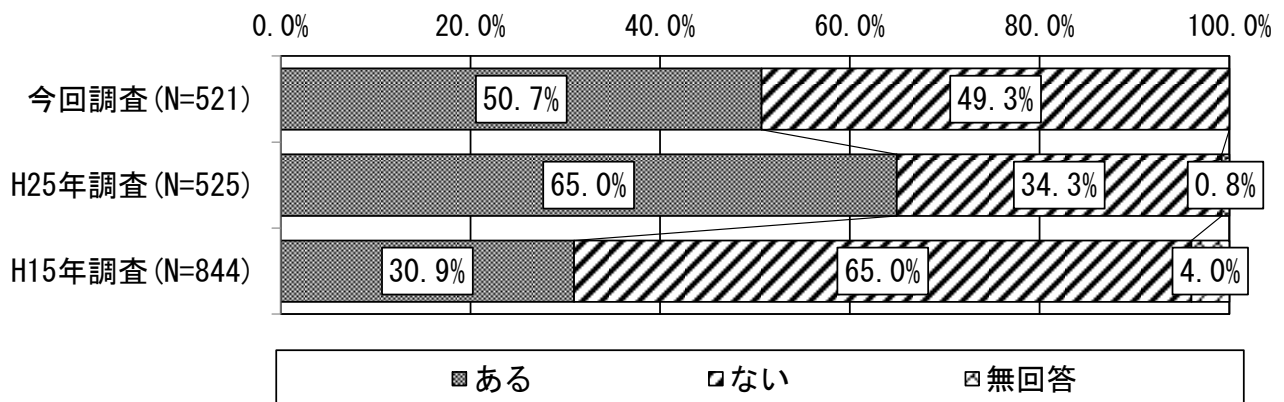
4. 男女共同参画の研修

(1) 男女共同参画の研修を受けた経験

問 12 あなたは、これまで庁内で男女共同参画の研修を受けたことがありますか。(いずれか1つを選択)

- 男女共同参画の研修を受けた経験をみると、「ある」は50.7%、「ない」は49.3%となっている。
- 前回調査と比較すると、「ある」は65.0%から50.7%と10ポイント以上減少している。

図表 男女共同参画の研修を受けた経験－経年変化



(2) 研修を受けたことによる意識の変化

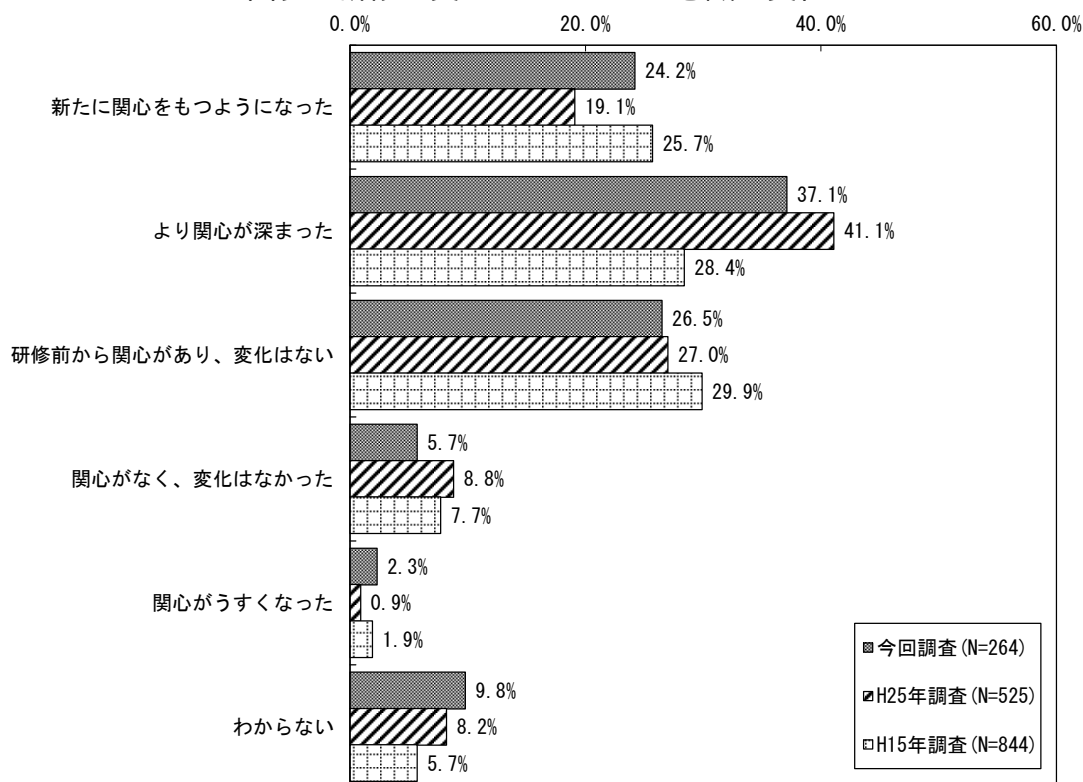
問 12 で「1 ある」と入力された方へおたずねします。

問 13 研修を受けたことで意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてを選択)

●研修を受けた方について、研修を受けたことによる意識の変化をみると、「より関心が深まった」が 37.1%で最も多く、次いで「研修前から関心があり、変化はない」(26.5%)、「新たに関心をもつようになった」(24.2%) などとなっている。

●前回調査と比較すると、「新たに関心を持つようになった」は 19.1%から 24.2%と増加している。

図表 研修を受けたことによる意識の変化



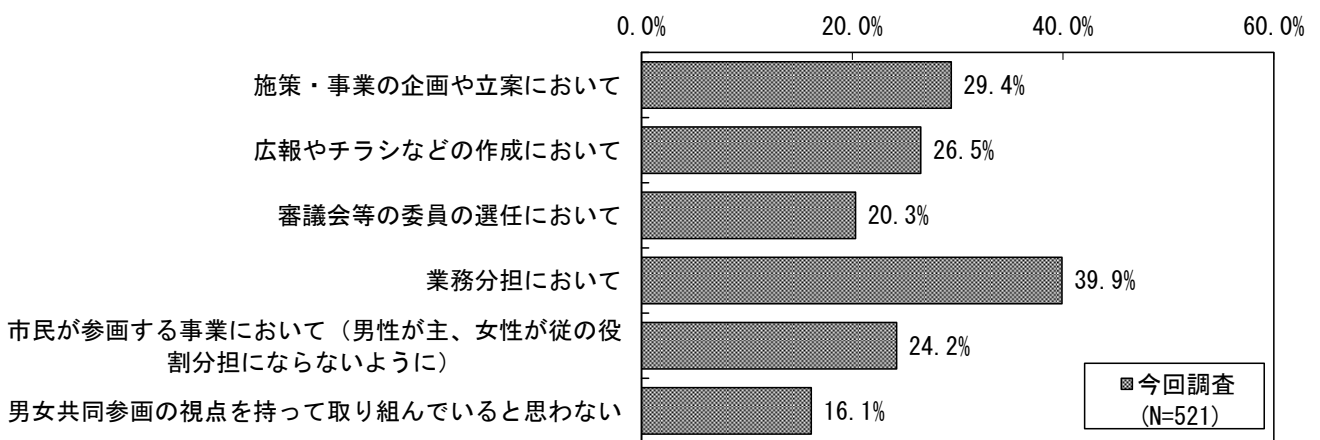
5. 業務における男女共同参画の視点

(1) 男女共同参画の視点を持って取り組んでいるか

問 14 あなたは、自分の業務の中で、どんなときに男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思いますか。(あてはまるものすべてを選択)

●業務の中で、どんなときに男女共同参画の視点を持って取り組んでいるかをみると、「業務分担において」が39.9%で最も多く、次いで「施策・事業の企画や立案において」(29.4%)、「広報やチラシなどの作成において」(26.5%)となっている。

図表 業務中どんなときに男女共同参画の視点を持って取り組んでいるか



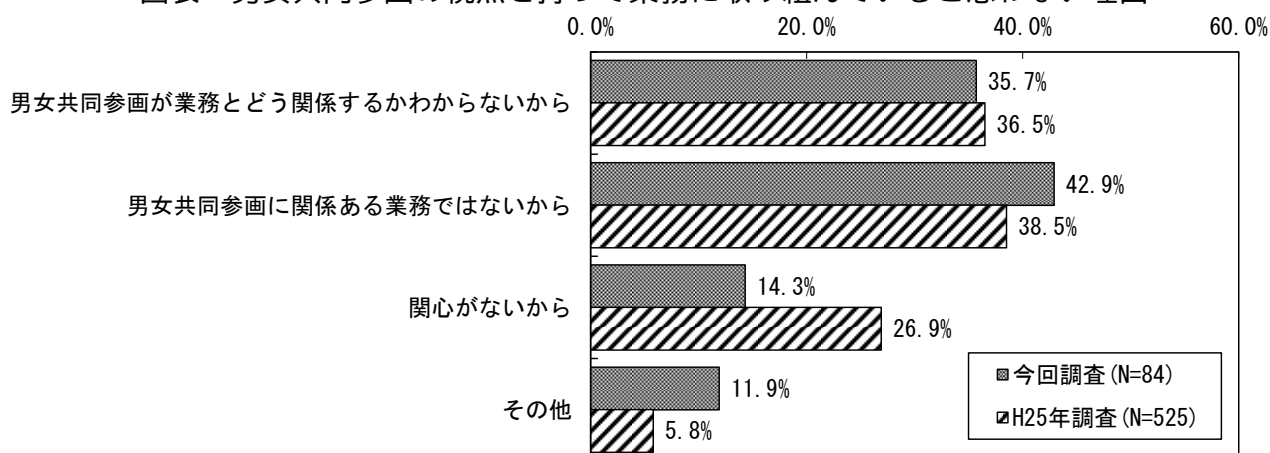
(2) 男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思わない理由

問 14 で「6 男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思わない」と入力された方へおたずねします。

問 15 それはなぜですか。(あてはまるものすべてを選択)

●業務の中で、男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思わない方について、それはなぜかをたずねたところ、「男女共同参画に関係ある業務ではないから」が 42.9%で最も多く、次いで「男女共同参画が業務とどう関係するかわからないから」(35.7%)、「関心がないから」(14.3%)となっている。

図表 男女共同参画の視点を持って業務に取り組んでいると思わない理由

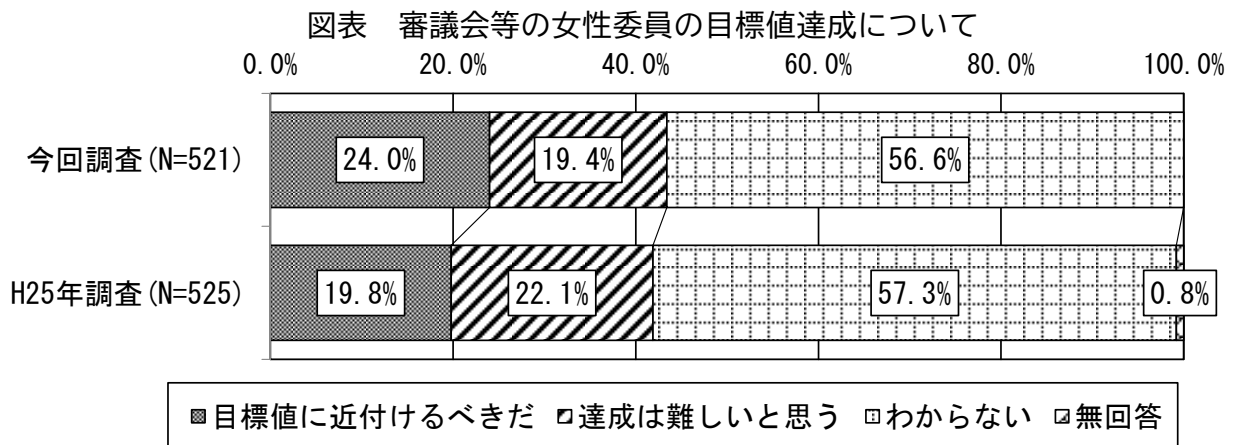


6. 生駒市の審議会委員と管理職に占める女性の割合

(1) 審議会等の女性委員の割合について

問 16 生駒市役所では、審議会等の女性の委員の割合について、令和6年度末までに40%以上を目標としていますが、達成できていません。あなたはどのように考えますか。(いずれか1つを選択)

● 審議会等の女性委員の目標値達成についてどう考えるかをたずねたところ、「わからない」が56.6%で最も多く、次いで「目標値に近づけるべきだ」(24.0%)、「達成は難しいと思う」(19.4%)となっており、半数以上があまり関心を持っていない。



問 16 で「1 目標値に近付けるべきだ」と入力された方へおたずねします。

問 17 どうすれば目標値に近付けると思われますか。(記述)

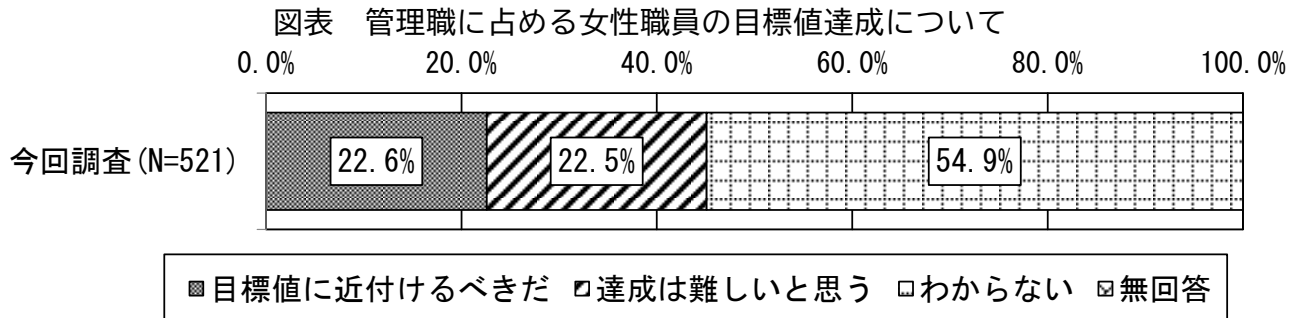
問 16 で「2 達成は難しいと思う」と入力された方へおたずねします。

問 18 それはなぜですか。(記述)

(2) 女性の管理職の割合について

問 19 生駒市役所では、管理職に占める女性職員の割合について、令和6年度末までに33%を目標値としていますが、達成できていません。あなたはどのように考えますか。(いずれか1つを選択)

●管理職に占める女性職員の目標値達成についてどう考えるかをたずねたところ、「わからない」が54.9%で最も多く、次いで、「目標値に近づけるべきだ」(22.6%)、「達成は難しいと思う」(22.5%)となっており、半数以上があまり関心を持っていない。



問 19 で「1 目標値に近付けるべきだ」と入力された方へおたずねします。

問 20 どうすれば目標値に近付けると思いますか。(記述)

問 19 で「達成は難しいと思う」と入力された方へおたずねします。

問 21 それはなぜですか。(記述)

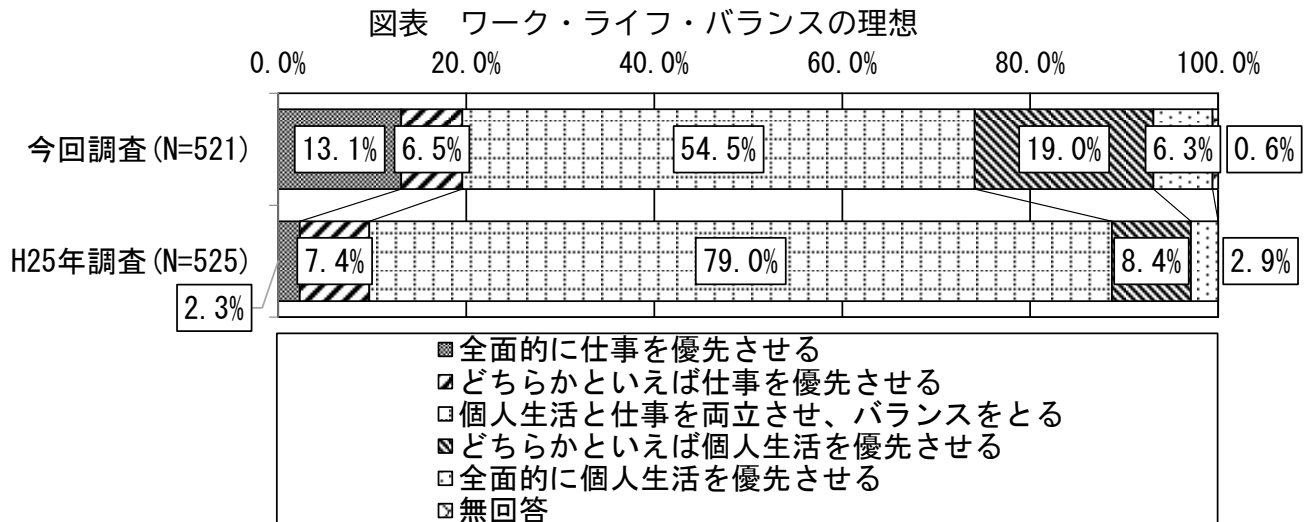
7. ワーク・ライフ・バランス

◆仕事と生活の調和（ワークライフバランス）の推進は、職員の意識改革と業務の見直しを促すなど経営戦略と言われていています。あなたの仕事と個人（家庭）生活のバランスについて、現状のバランスはどれですか。

（1）ワーク・ライフ・バランスの理想と現状

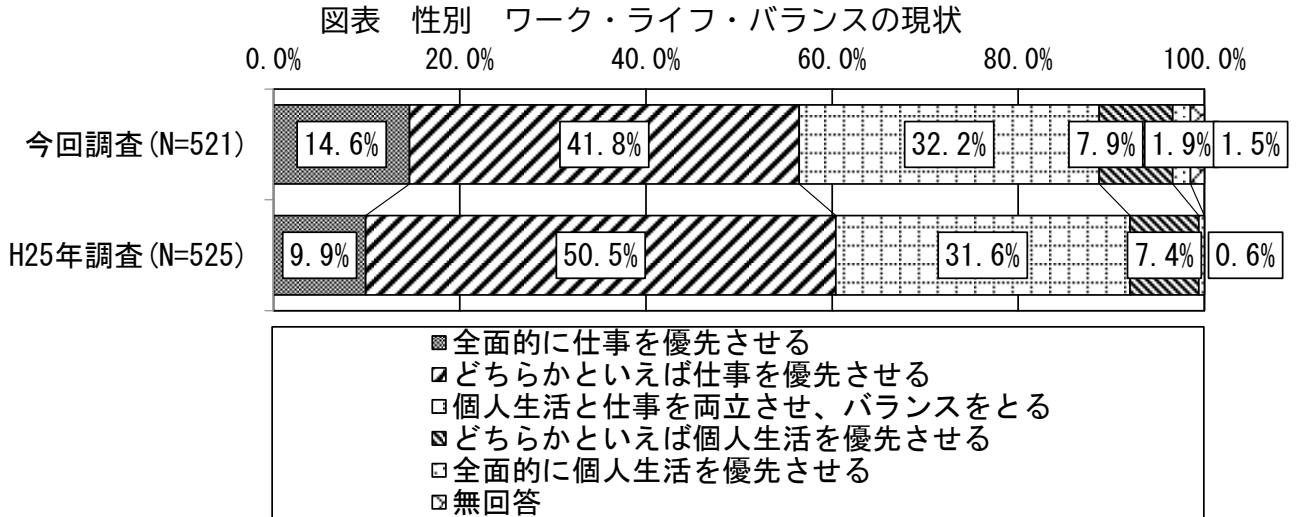
問 22 理想は

- ワーク・ライフ・バランスの理想についてみると、「個人生活と仕事を両立させ、バランスをとる」(54.5%)が半数以上を占めている。
- 前回調査と比較すると、「個人生活と仕事を両立させ、バランスをとる」は79.0%から54.5%と20ポイント以上減少しているが、「全面的に仕事を優先させる」と「どちらかといえば仕事を優先させる」を合わせた『仕事優先』は10ポイント近く増加している。



問 23 現状は

- ワーク・ライフ・バランスの現状についてみると、「どちらかといえば仕事を優先させる」が41.8%、次いで「個人生活と仕事を両立させ、バランスをとる」が32.2%となっている。
- 前回調査同様、「全面的に仕事を優先させる」と「どちらかといえば仕事を優先させる」を合わせた『仕事優先』が最も多く、半数以上となっている。

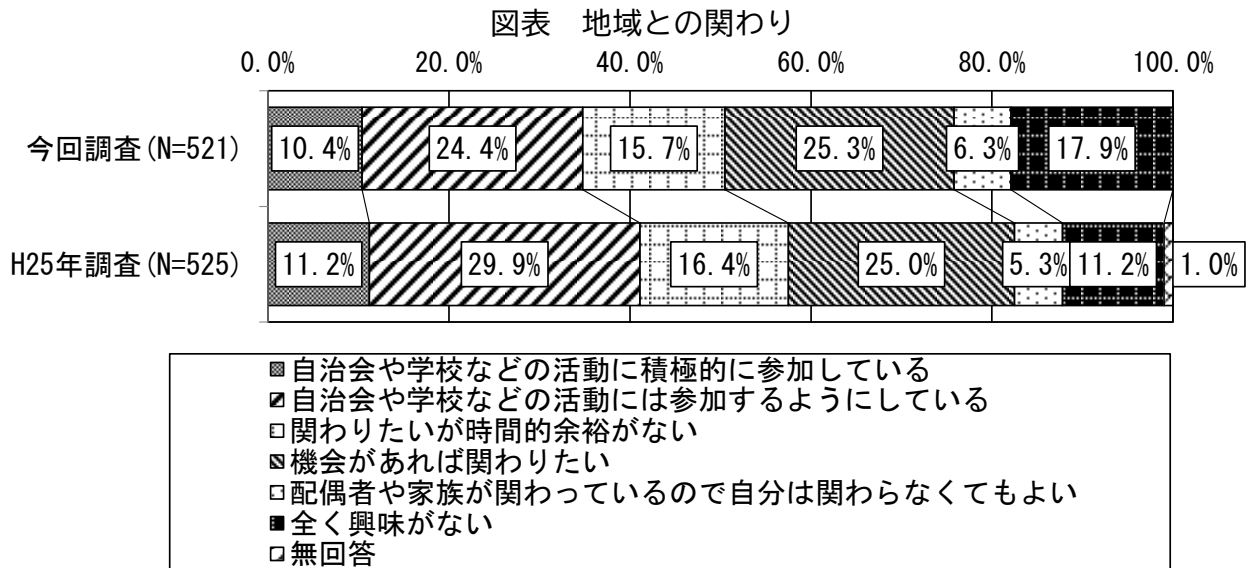


8. 地域との関わり

(1) 地域との関わり

問 24 あなたは、あなたが生活している地域とどの程度関わっていますか。(いずれか1つを選択)

●地域との関わりについてみると、「機会があれば関わりたい」25.3%と最も多く、次いで「自治会や学校などの活動には参加するようにしている」(24.4%)、「関わりたいが時間的余裕がない」(15.7%) などとなっている。



9. 自由記述

問 25 職場における男女共同参画あるいは生駒市が進める男女共同参画施策について、ご意見・ご要望があればご記入ください。(記述)

Ⅲ 資料・使用した調査票

[高い] 生駒市男女共同参画についての職員アンケート調査

問1 あなたの性別は。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 男性 2 女性 3 どちらともいえない、または答えたくない

問2 あなたの年齢は。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 18～29歳 2 30～39歳 3 40～49歳 4 50～59歳 5 60歳以上

問3 あなたは結婚(婚姻の届出のない事実婚を含む)していますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 結婚(事実婚)している 2 結婚後離別(死別を含む) 3 結婚していない

問4 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 そう思う 2 そう思わない 3 どちらともいえない 4 わからない

問5 あなたは現在共働き(パートナーがパートタイム、自営業、内職などを含む)をしていますか。また、パートナーがいない方は、結婚するとしたら、共働きをしたいと思いますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 共働きをしている(したい) 2 自分のみ就業している(したい) 3 パートナーのみ就業してほしい 4 その他
その他

問6 あなたの仕事の内容は、次のうちどれですか。(必須) (主となるもの1つだけを選択)

- 1 事務系(事務・司書など) 2 一般技術系(土木・建築など) 3 消防技術系 4 教育・福祉技術系(幼稚園教諭・保育士など)
5 医療技術系(看護師、保健師、栄養士など) 6 技能系
その他

問7 あなたの職層は。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 管理職(課長補佐級以上) 2 主幹級・係長級 3 その他職員

問8 あなたは、将来どのような役職につきたいと思いますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 管理職(課長補佐級以上)まで昇進したい、または現在ついている 2 主幹級・係長級まで昇進したい、または現在ついている 3 昇進したいと思わない 4 昇進できないと思う 5 その他
その他

問8で「2 主幹級・係長級まで昇進したい」「3 昇進したいと思わない」と入力された方へおたずねします。

問9 管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 責任が重くなるから 2 人事管理がわずらわしいから
3 休暇が取りにくいから 4 現場で働きたいから 5 家庭生活と両立しづらいから 6 あまり給料が上らないから
7 同僚との関係が難しくなるから 8 現在の地位が自分に適しているから
9 自分の能力に不安があるから 10 特に理由はない 11 その他
その他

問10 あなたは、仕事において自分の能力を発揮できていると思いますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 できている 2 できていない 3 わからない 4 その他
その他

問11 あなたの上司や同僚等が育児休業及び介護休業を取得するとしたら、どのように思いますか。(必須) (いずれか1つを選択)

- 1 当然の権利だと思う 2 お互い様だと思うので仕方ない 3 仕事のしわ寄せがくるので困る 4 わからない

問12 あなたは、これまで市内で男女共同参画の研修を受けたことがありますか。(必須) (いずれか1つを選択)

○1 ある ○2 ない

(問12で「1 ある」と入力された方へおたずねします。)

問13 研修を受けたことで意識に変化はありましたか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 新たに関心をもつようになった 2 より関心が深まった
3 研修前から関心があり、変化はない 4 関心がなく、変化はなかった
5 関心がうすくなった 6 わからない

問14 あなたは、自分の業務の中で、どんなときに男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思いますか。(必須) (あてはまるものすべてを選択)

- 1 施策・事業の企画や立案において 2 広報やチラシなどの作成において
3 審議会等の委員の選任において 4 業務分担において
5 市民が参画する事業において(男性が主、女性が従の役割分担にならないように)
6 男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思わない 7 その他
その他

(問14で「6 男女共同参画の視点を持って取り組んでいると思わない」と入力された方へおたずねします。)

問15 それはなぜですか。(あてはまるものすべてを選択)

- 1 男女共同参画が業務とどう関係するかわからないから 2 男女共同参画に関係ある業務ではないから
3 関心がないから 4 その他

その他

問16 生駒市役所では、審議会等の女性の委員の割合について 40%以上を目標としていますが、達成できていません。あなたはどう考えますか。(必須) (いずれか1つを選択)

○1 目標値に近付けるべきだ ○2 達成は難しいと思う ○3 わからない

(問16で「1 目標値に近付けるべきだ」と入力された方へおたずねします。)

問17 どうすれば目標値に近付けると思いますか。

(問16で「2 達成は難しいと思う」と入力された方へおたずねします。)

問18 それはなぜですか。

問19 生駒市役所では、管理職に占める女性職員の割合について、令和6年度末までに33%を目標値としていますが、達成できていません。あなたはどう考えますか。(必須) (いずれか1つを選択)

○1 目標値に近付けるべきだ ○2 達成は難しいと思う ○3 わからない

(問19で「1 目標値に近付けるべきだ」と入力された方へおたずねします。)

問20 どうすれば目標値に近付けると思いますか。

(問19で「2 達成は難しいと思う」と入力された方へおたずねします。)

問21 それはなぜですか。

◆仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進は、職員の意識改革と業務の見直しを促すなど経営戦略と言われていました。あなたの仕事と個人(家庭)生活のバランスについて、おたずねします。現状のバランスと、理想のバランスについて、あてはまるものをそれぞれ選んでください。

問22 理想は(必須)

- どちらかといえば仕事を優先させる 全面的に仕事を優先させる 個人生活と仕事を両立させ、バランスをとる
どちらかといえば個人生活を優先させる
全面的に個人生活を優先させる

問23 現状は(必須)

- 全面的に仕事を優先させる どちらかといえば仕事を優先させる
個人生活と仕事を両立させ、バランスをとる 全面的に個人生活を優先させる どちらかといえば個人生活を優先させる

問24 あなたは、あなたが生活している地域とどの程度関わっていますか。(必須) (いずれか1つを選択)

○1 自治会や学校などの活動に積極的に参加している ○2 自治会や学校などの活動には参加するようにしている ○3 関わりたいが時間的余裕がない ○4 機会があれば関わりたい ○5 配偶者や家族が関わっているので自分は関わらなくてもよい ○6 全く興味がない

問25 職場における男女共同参画あるいは生駒市が進める男女共同参画施策について、ご意見・ご要望があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。